



年末安全パトロールの記事が掲載されました

弊社の社員も参加した「年末安全パトロール」の記事が群馬建設新聞に掲載されました。

全国特定法面保護協会群馬県支部会

情報共有しゼロ災へ

年末安全パトロール実施



設楽理事長

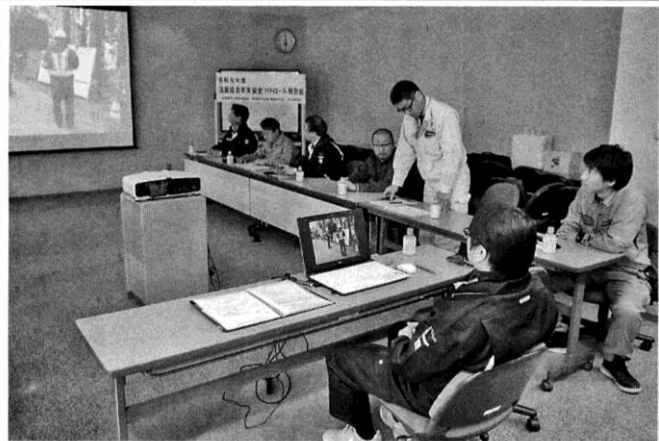


高橋委員長

全国特定法面保護協会 関東地方支部群馬県支部会 (設楽雅之幹事長) の安全委員会 (高橋範行委員長) は4日、年末安全パトロールおよび報告会を

開催した。4班に分かれ4つの現場を視察。ゼロ災害に向けて注意点を優先した点について情報を共有した。冒頭、高橋委員長は「われわれが施工する法面は自然災害などから市民を守る重要な施設であり、今回の台風19号でも安全な施設をつくるという点で責任の重大さを感じていると思う。これから復旧に向けて忙しさも増していくと思うが安全第一にしてほしい。きょうの報告会で工夫・努力している点をそれぞれの現場にフィードバックしてもらいたい」とあいさつ。続いて設楽幹事長は「台風19号の爪痕が多く残っており、われわれもその復旧に力を尽くさなくてはならない。これまでの想定以上の災害が起きており、気候危機という状況に入っていく。現場でもそうした状況に対応した設備や装備、判断基準を備えなくてはならない」とあいさつした。

現場パトロール後の報告会は、現場の整理状況や新規入職者の報告書、外国人労働者に対する



パトロールの結果を報告

群馬建設新聞 (2019年12月6日)に掲載